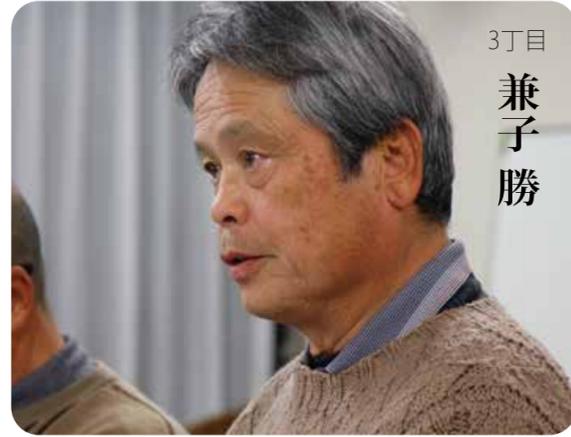


プロの演奏家と市民で
創り上げる創作オペラ～
「雨情とひろとお月さま」



3丁目
兼子勝

さくら市制10周年を記念して、市に縁の深い野口雨情とその妻で喜連川出身のひろを主人公にした創作オペラを、プロの演奏家と有志の市民合唱団の協働で上演します。日本三大童謡詩人である雨情と妻ひろの出会いと別れ、その後の人生を描いた二人の不思議な運命が雨情の名曲と共にオペラになりました。

「雨情とひろとお月さま」。これは、雨情の全作品から50編の詩を選び構成・作曲し、雨情と妻「ひろ」の精神的な関係を描き出すオペラです。雨情はどういう思いを抱いていた人物なのでしょう。また、2人の間には何があったのでしょうか。その「真実」は詩人である雨情の作品の中にこそ描かれているはず。またこの上演のためには、作品にふさわしい最高の演奏家に集まって頂きました。市民の皆さんも雨情とひろへの愛情とともに合唱に参加してくださいました。雨情を愛する方たちの思いが結集するオペラをどうぞお見逃しなく!

指揮のもと、ひとつの舞台を創り上げようとしている。「カーネギーホールに出演したようなプロの指揮者と同じ舞台上で立つ機会なんて、今までさくら市にはなかったんじゃないかな。そういう意味でも我々にとって貴重な体験。参加メンバーには子どもたちもいるけど、その子どもたちが将来こういうのもつとやってみたい」と思ってくれたらいいね。このさくら市でそういうプロジェクトが行われるのがいいよね。」最後に兼子さんにオペラの見どころを聞いた。「野口雨情という昔からおなじみの童謡作詞家の詞はそのままに、現代の作曲家がオペラ用に作曲し直したところ。(童謡ということから)小さい子どもから大人まで幅広く楽しめるから、オペラといっても敷居が高くなく、馴染みやすいのではないかな。」市制10周年を鮮やかに彩るオペラ公演。是非一度きりの公演をご覧いただきたい。記事・大河原千晶

さくら市 10th Anniversary!!

2005年3月に氏家町と喜連川町が合併して誕生したさくら市は、今年の3月28日に節目の10周年を迎えます。そこで、今回は市制10周年を記念して行われるイベントをご紹介します。

オペラ「雨情とひろとお月さま」

さくら市の誕生と共に始まり、来年で10回目の節目を迎える雨情音楽祭の開催と、さくら市市制10周年を記念して、市に縁が深い野口雨情とその妻で喜連川出身のひろを主人公にした創作オペラを、プロの演奏家と有志の市民合唱団の協働で上演します。日本三大童謡詩人である雨情と妻ひろの出会いと別れ、その後の人生を描いた二人の不思議な運命が雨情の名曲と共にオペラになりました。

【作詞】野口雨情 【台本・作曲】岩河智子 【指揮】樋本英一 【演出】中津邦仁

日時 3月8日(日) 午後2時～(午後1時30分開場)

会場 氏家公民館

入場無料(定員600名)

問い合わせ 028-686-6621(生涯学習課)



コメント

「雨情とひろとお月さま」。これは、雨情の全作品から50編の詩を選び構成・作曲し、雨情と妻「ひろ」の精神的な関係を描き出すオペラです。雨情はどういう思いを抱いていた人物なのでしょう。また、2人の間には何があったのでしょうか。その「真実」は詩人である雨情の作品の中にこそ描かれているはず。またこの上演のためには、作品にふさわしい最高の演奏家に集まって頂きました。市民の皆さんも雨情とひろへの愛情とともに合唱に参加してくださいました。雨情を愛する方たちの思いが結集するオペラをどうぞお見逃しなく!

演出家 中津邦仁氏

マッサンとリタの物語

～日本ウキスキーの父竹鶴政孝と妻リタ～

NHK連続テレビ小説「マッサン」のモデルとなるニッカウキスキー創業者竹鶴政孝と妻リタについての資料展示が栃木県指定文化財の瀧澤家住宅内鐵竹堂で行われます。資料展示にあたっては、北海道ニッカウキスキー余市蒸留所内に保存されている竹鶴政孝に関するものや妻リタの生家に保存されている政孝がリタに直筆のメッセージを記してプレゼントした英語の本も公開される予定です。また、3月28日(土)には、宇都宮市出身のシンガーソングライターせきぐちゆき氏によるコンサート、竹鶴政孝とリタについての記念講演会が実施されます。

日時 3月21日(土)～29日(日)午前10時～午後4時

会場 瀧澤家住宅内鐵竹堂

問い合わせ 028-686-6621(生涯学習課)

※氏家公民館の駐車場をご利用ください。



マッサンとリタ